

# 平成27年度視察研修・研修会等報告書①

議席番号4 議員名 櫻井 恵二

## 1. 日程

平成27年10月14日(水)～16日(金) 2泊3日

## 2. 場所

大阪府 池田市 ～ 徳島県 神山町 ～ 兵庫県 相生市

## 3. 視察・研修ルート及び移動方法

<一日目>

矢板駅(JR) → 宇都宮駅(新幹線) → 東京駅(新幹線) → 新大阪駅(レンタカー)  
→ 池田市役所『地域分権制度について』 → 大阪市泊

<二日目>

大阪市(レンタカー) → 神山町『IT企業の地方誘致について』 → 姫路市泊

<三日目>

姫路市(レンタカー) → 相生市役所『子育て支援宣言都市について』 → 新大阪駅(新幹線)  
→ 東京駅(新幹線) → 宇都宮駅(JR) → 矢板駅

## 4. 視察・研修事項

(1) 池田市 『地域分権制度』について

取り組みに至る経緯・成果・課題について

(2) 神山町 『IT企業の地方誘致(限界集落再生バレー)』について

取り組みに至る経緯・成果・課題について

(3) 相生市 『子育て支援宣言都市(子育て支援11の鍵)』について

取り組みに至る経緯・成果・課題について

## 5. 視察・研修の内容と成果

# 視察研修・研修会等報告書

議席番号 ( ) 議員名 ( )

1 27年 10月 14日

(日数 泊 日)

2 場 所 大坂府 池田市

3 視察、研修事項 地域分権制度について

4 面 接 者 地域分権 課長 岩崎 隆、副主幹 北村 仁志

5 視察研修、研修会の成果

「私たちのまちを自分たちでつくる」を合い言葉に平成19年よりスタートした制度、内訳は市税の1%を市民の人に使い道を委ねる制度である。市民によって構成された「地域コミュニティ推進協議会」が、地域のためになるよう予算の使い道について市へ提案する。

地域コミュニティ推進協議会には、地元を良くしたいと思う住民であれば誰でも参加可能である。現在11地区で465名が参加している。

提案額は各地域ごと人口・面積を考慮して上限800万円程度と設定している。

## 「所感」

池田市の地域分権制度は、市税の1%市民の人々に自由に使っていただく全国初の制度ですが、特別な事件をキッカケに、市民の意識がたがまり、出来た制度ではないかと思う。市民全体が、理解できるお金の使い方とは、非常に難しい気がします。ただ地域に対する意識の向上には役立つと思いました。

視察研修・研修会等報告書

議席番号 ( ) 議員名 ( )

127年10月15日

(日数 泊 日)

2 場 所 徳島県 神山町

3 視察、研修事項 IT企業の地ち誘致(限界集落再生バレー)

4 面 接 者 神山町産業観光課 課長補佐 高橋成文 サテライトオフィス担当

5 視察研修、研修会の成果

木内康勝

サテライトオフィスは、通勤時間の短縮や固定費の削減、地方に  
オフィスを構えることによる、リスクの分散などメリットは数多くあると思う。

2015年9月現在、12社がサテライトオフィス設置、30名新規雇用  
3年後までに30名程度の新たな雇用が生まれる見込み。

平成16年光ファイバーを敷設していたため、空き家を利用して  
IT産業が入ってくる気になった。

「所感」

現実に人口減少に対する強い危機感から生まれたのが  
「サテライトオフィス」だと思います。<sup>自身から起業したり</sup>首都圏から転  
<sup>勤</sup>移したり、このような中山間地に農林業以外の産業を根づかせる  
ことは、町全体の幅が出る。きっと将来、普通の中山間地とは  
違ったまちづくりが出来ると思う。

視察研修・研修会等報告書

議席番号 ( ) 議員名 ( )

1 <sup>27</sup>年 10月 16日

(日数 泊 日)

2 場 所

相生市役所

3 視察、研修事項

子育て支援宣言都市について

4 面 接 者

5 視察研修、研修会の成果

相生市は昭和49年より人口は減少を続けている。42188人  
いた人口は現在 30,603人である。15才未満が県下でも最下位である。  
そこで予算を人口増加つながらるこころの子育て支援に集中させ、子育て  
世代をターゲットに定住促進を図る。

給食費無料は幼稚園から中学校まで 家賃毎月1万円補助  
(3年限度) 保育料無料 子育てチケットプレゼント マタニティグッズ  
子どもの医療費助成 相生っ子学び塾事業 小学5、6年生対象に実施。  
定住者住宅取得奨励金 40才未満の世帯に50万円を、市外からの転入者で  
住宅購入世帯(年齢制限なし)に30万円を5年に分けて助成する。

「所感」

子育て支援がすまじい。このぐらい役所でも予算を集中おこなう  
出来るんだと感心しました。地域間競争に勝つんだという点  
から考えると必要だと思えます。



# 平成27年度視察研修・研修会等報告書②

議席番号4 議員名 櫻井 恵二

## 1. 期 日

平成28年1月13日(水)～15日(金) 2泊3日

## 2. 場 所

宇城市 ～ 雲仙市 ～ 大村市

## 3. 視察・研修ルートおよび移動方法

矢板駅(JR) → 宇都宮駅(新幹線) → 東京駅 → 羽田空港(ANA643便) → 熊本空港(レンタカー) → 宇城市『物産館・アグリパーク豊野の取り組みについて』 → 熊本市泊  
熊本市(レンタカー) → 雲仙市『定住促進』の取り組みについて → 長崎市泊  
長崎市(レンタカー) → 大村市『市民交流プラザおおむら』の取り組みについて → 長崎空港(ANA666便) → 羽田空港 → 東京駅(新幹線) → 宇都宮駅(JR) → 矢板駅

## 4. 視察・研修事項

- (1) 宇城市 『物産館・アグリパーク豊野』の取り組みについて  
取り組みまでの経過、現状・状況、課題
- (2) 雲仙市 『定住促進』の取り組みについて  
取り組みまでの経過、現状・状況、課題
- (3) 大村市 『市民交流プラザおおむら』の取り組みについて  
取り組みまでの経過、現状・状況、課題

視察研修・研修会等報告書

議席番号 ( ) 議員名 ( )

1 28年 1月 13日

(日数 泊 日)

2 場 所 宇城市物産館・アグリパーク豊野の取り組みについて

3 視察、研修事項

4 面 接 者 支配人 福島賢一郎

5 視察研修、研修会の成果

2006年のオープンから2012年まで売上げは2億円の横ばいだった。2013年より、現支配人に変わり品数を増やし、売上げを30%伸ばし、2015年には3億2百万円まで売上げを伸ばした。また雇用者も2013年10名、2014年13名、2015年27名と伸ばしていた。

(所感)

人口は6万人を<sup>超</sup>越えていますが、私のイメージからすると、塩谷町に似た町にみえました。アグリパーク豊野は役所からの支援を待つのではなく、積極的に提案し、事業を進め、いく。自衛心の強い、道の駅と感じました。

視察研修・研修会等報告書

議席番号 ( ) 議員名 ( )

18年 1月14日

(日数 泊 日)

2 場 所

雲仙市 市役所

3 視察、研修事項

「定住促進」の取り組みについて

4 面 接 者

政策企画課長 大塚英樹

5 視察研修、研修会の成果

取り組みの現状について

制度の内容 平成26年より、55才以下の若で雲仙市内に新築住宅を  
取得した者、定額10万円、18才以下の子供1人につき1万円、これを5年  
間支援する

そして平成27年からは、中古住宅取得者にも定額10万円、  
18才以下の子供1人につき1万円、1回支援する

実績 平成26年度 36件 (市内24名、市外12名)

平成27年度 29件 (市内23名、市外6名) 中古住宅3件がある

所感

50年間人口が減少が続いているまちです、いろいろ参考にする  
取り組みをしていますが、すべて後手にまわっている感じがします  
はやめに取り組みを、しないと結果も出ないと感じました

# 視察研修・研修会等報告書

議席番号 ( ) 議員名 ( )

1 28年 1月 15日

(日数 泊 日)

2 場 所 長崎市 大村市 「市民交流プラザおおむら」

3 視察、研修事項 「市民交流プラザおおむら」のとりくみについて

4 面 接 者 大村市 商工振興課 参事 増田正治

5 視察研修、研修会の成果

平成 26年 11月 市民交流プラザおおむら オープン、総工費 16億

内訳は 国が 7億で 6億 5千万円が市債

2.5億は 一般財源である 運営は業務委託 米館者は約 28万人  
年間運営費 4.500万円 使用料収入 310万円

市民交流プラザは 5階～12階 (市営住宅) とし 全 48戸 家賃 3DK  
20,000円、1DK 10,000円で 1DKは 独居老人対策、3DKは  
若い家族をいれ 2 バランスを取っている として 何よりも、プラザ  
が完成する前と後では、前の道の通行人数が 20倍に増えた  
という事です

「所感」

長崎県内で 唯一人口が増加しているまち。まちづくりも  
かなり 大胆である。かなり 結果の出ているまちです。補助金の使い方、  
使い方がうまい。大村市においても参考に存するかと たくさんあると  
感じた。